

令和3年度認定

【計画名:水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
水木しげる記念館への日本人入館者数(千人)	95	78	82%	140	121	86%	0		190		238	
水木しげる記念館への外国人入館者数(千人)	5	0.4	8%	10	0.9	9%	0		10		17	
水木しげるロードの入込客数(千人)	1,000	737	74%	1,300	1,015	78%	1,300		1,600		2,000	
水木しげる記念館入館者の満足度の向上(%)	96	96	100%	96	94	98%	—		4.5		4.5	
水木しげるロードの滞在時間(時間)	1.75	1.71	98%	2.0	1.39	70%	1.5		2.5		3.0	
水木しげる記念館入館者に占める宿泊者(%)	86.6	90.0	104%	86.8	93.2	107%	87.0		87.2		87.4	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <p>水木しげるロードの入込及び水木しげる記念館への日本人の入館者数については新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見え始め、徐々に観光客数が戻りつつあるが、未だにR1年コロナ禍前の半分程度となっている。また、水木しげる記念館への外国人入館者数については、外国人の入国制限解除を受け、R4年10月より増加。R5年1月には、入館者が200人を超えたが、それでもコロナ禍前の2割程度となっている。</p> <p>入館者の満足度については、「大変満足」「満足」と回答した方の割合が94%であり、昨年度を下回る結果となったが、残りの6%の回答は「普通」であることから、水木しげる記念館のリニューアルを行い、満足度の向上を目指す必要がある。</p> <p>(評価)</p> <p>目標値を達成した項目は水木しげる記念館入館者に占める宿泊者の割合のみ。</p> <p>その他の項目については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、水木しげるロード・記念館の入込客数はR3、4年と目標を達成できず、水木しげる記念館の満足度及び水木しげるロードの滞在時間は減少。水木しげる記念館が休館中となるR5年度は情報発信を行い、R6年度以降はリニューアルオープンにより、実績を向上させる。</p>
--

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
事業1-①	拠点施設コンテンツ強化事業	—	【延期】 水木しげる記念館の再整備方法の変更に伴い、実施時期を変更。			0.2百万円
事業1-②	水木しげる記念館展示物改修事業	—	【延期】 水木しげる記念館の再整備方法の変更に伴い、実施時期を変更。			
事業1-③	もののけ3館連携事業	「3館周遊パスポートwithポケットガイド」を作成。	・「3館周遊パスポートwithポケットガイド」を作成。 ・3館連携イベント「もののけトーク」を開催。			
事業1-④	水木しげる聖地巡礼事業	—	市内登録店舗で使用できる観光クーポン券を配布。			
事業2-①	妖怪文化伝承事業	「妖怪文化伝承講座(小学生向け及び一般向け)」を実施。	「妖怪文化伝承講座(小学生向け及び一般向け)」を実施。			0.8百万円
事業2-③	多言語オーディオガイド更新事業	—	【延期】 水木しげる記念館の再整備方法の変更に伴い、実施時期を変更。			
事業2-④	水木しげる記念館解説強化事業	—	【延期】 水木しげる記念館の再整備方法の変更に伴い、実施時期を変更。			
事業3-①	ミュージアムネットワーク事業	ミュージアムガイドブック「山陰まんなか、巡らいや」を作成。	ミュージアムガイドブック「山陰まんなか、巡らいや」を作成。 (掲載施設数、配布特典内容を拡充)			0.5百万円
事業3-④	水木しげる記念館Wi-Fi整備事業	—	【延期】 水木しげる記念館の再整備方法の変更に伴い、実施時期を変更。			
事業4-①	水木しげる記念館限定グッズ開発事業	—	水木しげる記念館限定グッズとして伯州綿の枝を使用したタンブラーの製作を決定。			—

事業5-①	妖怪文化情報発信事業	SNSイベント「妖怪キャラ弁&キャラスイーツコンテスト」を実施。	水木しげる記念館開館20周年にあわせ、SNSイベントを実施。			
事業5-③	各種記念式典開催事業	令和4年3月に「生誕100年水木しげる生誕祭」及び「水木しげる先生生誕祭イベント」を実施。	令和5年3月に「生誕101年水木しげる生誕祭」「水木しげる先生生誕祭イベント」及び「水木しげる記念館休館セレモニー」を実施。			0.2百万円
事業6-①	水木しげる記念館再整備事業	水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画の策定に向け検討委員会を実施。	・水木しげる記念館再整備基本計画・基本構想を策定。 ・再整備実施方法をDBO方式に決定。 ・実施事業者を水木しげる記念館再整備事業DBO共同事業体に決定。			—
各年度ごとの実績額→		1.1百万円	0.6百万円			1.7百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <p>1-③もののけ3館連携事業及び3-①ミュージアムネットワーク事業については事業内目標を達成できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■1-③もののけ3館連携事業（3館周遊パスポート販売数 目標：200枚 実績：31枚）（実運送人数 目標：290人 実績：28人） ■3-①ミュージアムネットワーク事業（他施設の会員証提示による水木しげる記念館入館者数 目標：150人 実績：23人） <p>どちらも施設入館料の割引などの特典付きガイドブックであったが、全国旅行支援事業と同時期の実施となったことから利用者数の増加につながらなかったことが考えられる。その他の事業については目標通り事業を実施。※一部事業（水木しげる記念館の再整備に係るもの）については水木しげる記念館の再整備方法の変更にあわせ、実施時期を変更。</p> <p>(評価)</p> <p>上記の通り1-③、3-①以外については目標を達成。</p> <p>1-③、3-①についてはガイドブックの特典の充実や周知方法の工夫、R6年度の水木しげる記念館のリニューアルオープンに併せて事業を実施するなどし、ガイドブックの認知及び利用者数増加を促す必要がある。</p>
--

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	水木しげる記念館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		水木しげる氏の遺産である「妖怪文化」を後世に語り継ぐため、「妖怪文化伝承講座」を実施。令和3、4年に出前授業形式の小学生向け講座及び一般向け講座を開催。妖怪文化の語り部ガイド育成を行った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		ビーコンとスマートフォンを使用し、展示物に近づくと自動的に音声解説が始まり、画像情報を提供するガイドシステム及びコンテンツを作成予定。水木しげる記念館休館中の令和6年2月までに音声ガイドシステムを構築し、令和6年春のリニューアルオープンにあわせて運用を開始する。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介のシステムを使用。展示物に近づくと自動的に始まる音声解説は、5か国語（日・英・簡・繁・韓）に対応予定。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		もののけ3館連携事業では、水木しげる記念館、小泉八雲記念館、湯本豪一記念日本妖怪博物館の3館共通の入館券「3館周遊パスポートwithポケットガイド」を2年連続作成。令和5年2月には3館連携企画である「もののけトーク」を開催した。また、ミュージアムネットワーク事業では、水木しげる記念館を含む中海・宍道湖・大山圏域内文化観光施設を紹介する特典付きミュージアムガイドブック「山陰まんなか、巡らいや」を作成。令和3年には11施設、令和4年には12施設が加盟し、圏域内外との連携体制を構築した。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		入館者アンケートを実施しデータを収集（回答346件）、そのデータを整理・分析、「大変満足」「満足」の回答が令和3年度は96%、令和4年度は94%と、前年度を下回る結果となった。「普通」と回答した方の中には水木しげる記念館の設備に対する意見もあったため、これらを参考として水木しげる記念館の再整備を行っていく。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		「中海・宍道湖・大山圏域市長会 総合戦略推進委員会」で圏域内の観光入込客数や圏域宿泊者数の統計を出しており、これらの結果を勘案したKPIを設定している。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
（一般社団法人）中海・宍道湖・大山圏域観光局	各事業の取組について、事業実施はできているが、計画目標が宿泊者数を除き未達成であった。国際クルーズ船の再開、航空ではチャーター便といったインバウンド需要も回復の兆しが見え始めている。山陰の空、海の玄関口を有する境港市において、水木しげる記念館及び水木しげるロードにコロナ禍前の活気が戻ることは重要。

⑦今後の改善の方向性

<p>計画目標については、台湾・韓国チャーター便の運航、新型コロナウイルス感染症の5類移行、水木しげる記念館のリニューアルなどの影響により、改善に向かうことが予想される。また、水木しげる記念館の休館中であるR5年度は、水木しげるロードの誕生30周年であり、一年を通して様々なイベントを実施することを予定しているため、R6年以降途切れることのない施策を実施し、水木しげる記念館の文化観光施設としての魅力増進を行う。</p> <p>事業の進捗状況については2事業のガイドブックの利用者数の少なさが課題となっている。どちらのガイドブックも水木しげる記念館をメインに据えるものであるため、水木しげる記念館のリニューアルオープンに合わせたガイドブックの周知を行うなどし、利用者数の増加を図る。</p>
